

平成25年度7月発行

東備支援だより

本年度の学校経営計画のひとつにあげていましたが、教職員の専門性と協働性の向上を図るために職員全員が一人一授業公開を実践しています。日々の指導実践の中で、それぞれが個別の教育支援計画や指導計画に基づいて、どのような学習活動や子どもへの働きかけをしていけば良いのかを考えながら、指導計画案を作り実践しています。授業では、参観の先生たちの真剣なまなざしの中で、指導をしている先生だけでなく子どもたちも大張り切りだったり緊張したりで、予想外の展開も見られます。授業後には、○授業の目標は達成できたのか ○子どもたちへの働きかけは良かったのか ○学習活動は適していたか・・・など、先生たちで反省会を行い、よりよい授業実践を目指しています。



【放課後の自主研修会の一場面】



【“宿泊学習をしよう”の研究授業】

【“クッキーパーティーをしよう”の研究授業】



【岡山県特別支援教育振興会理事会、PTA 連絡協議会理事会】

6月12日に岡山県特別支援教育振興会理事会があり、県内の特別支援教育を支援してくれている手をつなぐ育成会や知的障害者福祉協会などの各会長や学校関係者（各校のPTA会長、校長）が集まり本年度の事業計画等について協議しました。

つづいて、県内の15校の特別支援学校のPTA会長が集まり、各校のPTA活動の様子を話し合っ情報交換をしたり、協議会として一緒に取り組んでいく活動について協議したりしました。本年度は、この協議会の会長を本校の藤林会長がしてくれています。



【PTA 連合連絡協議会理事会】



【特別支援教育振興会理事会】